

クロアチア情勢(2019年11月)

在クロアチア日本国大使館

1. クロノロジー

【内政】

4日	野党社会民主党(SDP), クロアチア農民党(HSS), クロアチア年金党(HUS)及び強い力(SNAGA)は, 反汚職宣言に署名し, 汚職との闘いに対する決意を表明。
9日	ハサンベゴビッチ議員(無所属)が, 新党「クロアチアのためのブロック」を立ち上げ。
11日	グラバル＝キタロビッチ大統領は, 大統領選挙に向けた公約(platform)を発表。
14日	政府は, 大統領選挙を12月22日(第一回投票)及び明年1月5日(決選投票)に実施することを決定。
	議会は, 10月に政府が提出していた祝日(注:休日)及び記念日(注:労働日)の改正案を可決。これにより, 「建国記念日」(祝日)が現行の6月25日から5月30日(現行では「議会の日」(記念日))に移行され, 現行の祝日「独立記念日」(10月8日)が記念日とされ, 11月18日が「祖国戦争及びブコバル・スカブルニャ犠牲者追悼の日」として祝日に移行された。
17日	クロアチア社会自由党(HSLS)新党首にダリオ・フレバク・ビエロバル市長が選出された。
18日	(1990年代の紛争において, ブコバル市が陥落した日を追悼する)ブコバル市紛争犠牲者追悼式典が行われ, グラバル＝キタロビッチ大統領, ヤンドロコビッチ議会議長, プレンコビッチ首相, 退役軍人, 犠牲者家族, 外交団, 市民等が参加。
22日	コステリッチ・スポーツ庁長官が解任された(個人的理由による本人の希望に基づくもの)。
	大統領選挙の立候補に必要な署名の収集活動が開始される。(12月3日まで)
26日	ミラノビッチ元首相が7万8千人分の署名を国家選挙管理委員会に提出し, 大統領選挙に立候補。
29日	コラクシッチ欧州議会議員が1万5千人分の署名を国家選挙管理委員会に提出し, 大統領選挙に立候補。
30日	バビッチ「全てのチャ方言・カイ方言・シュト方言話者のクロアチア党」(議会外政党)党首が, 2万3千人分の署名を国家選挙管理委員会に提出し, 大統領選挙に立候補。

【外交】

2日～	ヤンドロコビッチ議会議長が中国を訪問し, 栗戦書・中国全国人民代表大会常務
-----	---------------------------------------

6日	委員会委員長と会談を行い、第二回中国国際輸入博覧会における経済フォーラムで演説を行った他、ファーウェイ社を訪問した。中国国際輸入博覧会のマージンでは、クロアチア経済会議所主催の「クロアチア・中国ビジネスフォーラム」が行われ、「ヤ」議会議長、ホルバット経済・中小企業相、ブチュコビッチ農業相及びブリロビッチ・クロアチア経済会議所会頭が参加した他、同博覧会においては、クロアチア経済会議所及びクロアチア政府観光局が、クロアチアの経済及び観光を紹介した。
4～5日	プレンコビッチ首相はチェコを訪問し、4日にバビシュ・チェコ首相と会談した他、5日、結束グループ「The Friends of Cohesion group」首脳会合に出席。
8日	プレンコビッチ首相は、スイスのジュネーブで開催された世界経済フォーラム「西バルカンに関する戦略的対話」に出席。
8日	クロアチア外務・欧州問題省は、セルビアにおいて、90年代の紛争でクロアチアのブコバル市が陥落した際に旧ユーゴスラビア軍を率いたブラティッチ司令官の記念碑の除幕式が行われたことに対し、抗議文を发出。
13日	メテルコ＝ズゴンビッチ外務・欧州問題省副大臣は、政府が、セルビアに対し、旧ユーゴからの承継に際しクロアチアが権利を有する未払いの外貨1億4850万ドルの支払いを求めた旨述べた。
	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は、伊及びバチカンを訪問し、ローマ法王に謁見するとともに、ギャラガー・バチカン外務長官及びアメンドラ・イタリア欧州問題担当相とそれぞれ会談。
19日～21日	20日、欧州人民党(EPP)の党大会がザグレブで開催され、メルケル独首相、トウスク欧州理事会議長、ドールEPP代表、フォン・デア・ライエン次期欧州委員会委員長並びにアイルランド、ギリシャ、ノルウェー、ブルガリア、ルーマニア及びラトビアの首相等が参加。プレンコビッチ首相は、19日、トウスク欧州理事会議長及びバルニエ英国EU離脱首席交渉官とそれぞれ会談、20日にメルケル独首相、ボリスフ・ブルガリア首相、ミツオタキス・ギリシャ首相及びソールベルグ・ノルウェー首相とそれぞれ会談、21日に、ヴァラッカー・アイルランド首相、オルバーン・ルーマニア首相及びカリンシュ・ラトビア首相とそれぞれ会談した。
20日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相が、NATO外相会合(於:ブリュッセル)に出席。
21日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相が、EU外務理事会(貿易問題)に出席。
25日	クロアチアEU議長国関連の主要日程が発表された。5月6日及び7日にEU・西バルカン諸国首脳会合(於:ザグレブ)が、6月19日にEU・東方パートナーシップ諸国首脳会合(於:ブリュッセル)が行われる予定。
	ヤンドロコビッチ議会議長がイスラエルを訪問し、エデルシュタイン・イスラエル議会議長と会談。
28日	オルバーン・ハンガリー首相が当国東部のオシエク市に来訪し、プレンコビッチ首相と、同市内のハンガリー教育・文化センターの学生寮開寮式に出席するとともに

	に、首脳会談を行った。
	政府は、アルバニア大地震の復興支援として100万クーナ相当の緊急人道支援（テントや発電機等）を決定。
29日	マウラー・スイス大統領が当国を訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレニコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。

【経済】

4日	欧州委員会は、スプリット・ダルマチア県及びザグレブ市における上下水道施設改修事業（総事業費1.56億ユーロ）に対して、EU基金を拠出することを承認。2023年に稼働予定。
7日	欧州委員会は、秋の経済見通しを公表。2019年のクロアチアの経済成長率は2.9%と前回の見通し（7月：3.1%）から下方修正。主要貿易相手国の成長鈍化等を反映。
13日	クロアチア道路公社は、ペリエシャツ橋建設事業に付随する接続道路建設事業について、シュトラバグ社（奥）が工事に着手した旨発表。
14日	クロアチア議会は、2020年政府予算案を賛成多数で可決。歳入は1450億クーナ（前年当初予算比6.7%増）、歳出は1470億クーナ（同5.0%増）、財政赤字は対GDP比0.5%となる見通し。また、2020年の経済成長率を2.5%と予測。
19日、	大陸ヨーロッパで最大規模となるツィグレナ地熱発電所（ザグレブから北東90kmに位置）が運転開始。
21日	クロアチア建設・都市計画省は、「ザグレブ市都市開発計画」（ザグレブ・マンハッタン）の修正案を了承。
22日	政府は、2020年の外国人労働者の受入枠を78,470名とすることを決定。産業別では、建設業33,000名、観光業18,370名、交通サービス業2,904名、金属加工業2,300名、食品加工業1,410名、林業1,380名など。
	政府は、中央政府職員の基本給与を6.12%引き上げることとする労働協約付属書を承認。
25日	ザグレブ市中心部に20,000名を超える教職員がクロアチア各地から集まり、給与係数（給与算定の指数）の引上げを求めるストライキを実施。
	オシエク・バラニャ県政府は、県内自治体における上下水道整備事業（事業総額5.7億クーナ）について、クロアチア水道公社及び県内自治体との契約に署名。事業費の一部をEU基金から補填。
27日	政府は、教職員を除く公的部門労働組合との間で、明年の基本給与を6.12%引き上げること合意。
	クロアチア政府統計局は、四半期GDP統計（速報値）を公表。2019年第3四半期のGDPは前年同期比2.9%となり、第1四半期（同4.1%）、第2四半期（同

	2. 4%)に続き高い伸び。財・サービス輸出，家計消費が牽引。21期連続のプラス成長。
28日	欧州委員会は，ザグレブ市地域熱供給システム改修事業に対して，EU基金(5700万ユーロ)を拠出することを承認。